

総務建設常任委員会協議会 説明資料

令和6年11月8日

明治記念大磯邸園の暫定公開及び整備状況について

資 料

- 1 事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 暫定公開及び事業期間の延伸について・・・・・・・・・・ 2
- 3 暫定公開について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
- 4 事業期間の延伸について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～6

都市計画課

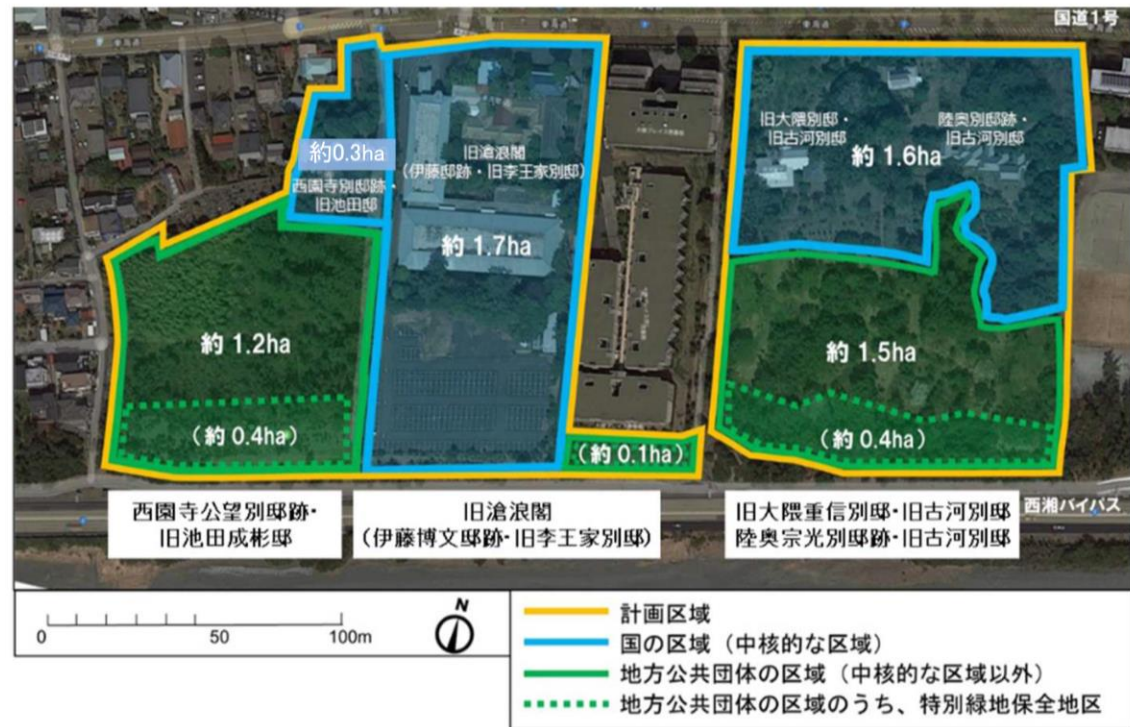
1. 事業の概要

(1) 事業の目的と計画の概要

- 目的 : 「明治150年」関連施策の一環として、明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の一体的な保存・活用を図る。
- 事業地 : 神奈川県中郡大磯町
- 計画面積 : 約6.3ha
- 事業期間 : 平成29年度～令和10年度【前回:～令和7年度】
- 総事業費 : 約269億円(国:243億円、町:26億円) 約70億円の増額(国:約74億円の増額、町:約4億円の減額)
【前回:約199億円(国:169億円、町:30億円)】
【前々回:約120億円(国:89億円、町:30億円)】



明治記念大磯邸園 位置図



2. 暫定公開及び事業期間の延伸について

(大隈・陸奥地区)

- 令和2年11月に庭園エリアを開園。旧大隈別邸、陸奥別邸跡の邸宅改修工事を進め、令和6年11月23日から邸宅の暫定公開を予定。

(滄浪閣地区・西園寺地区)

- エントランス棟の新築工事、旧滄浪閣と西園寺別邸跡(旧池田別邸)の改修工事を進めており、両邸宅の解体調査を行った結果、設計の変更が必要となったため、事業期間を令和10年度まで延伸する予定。

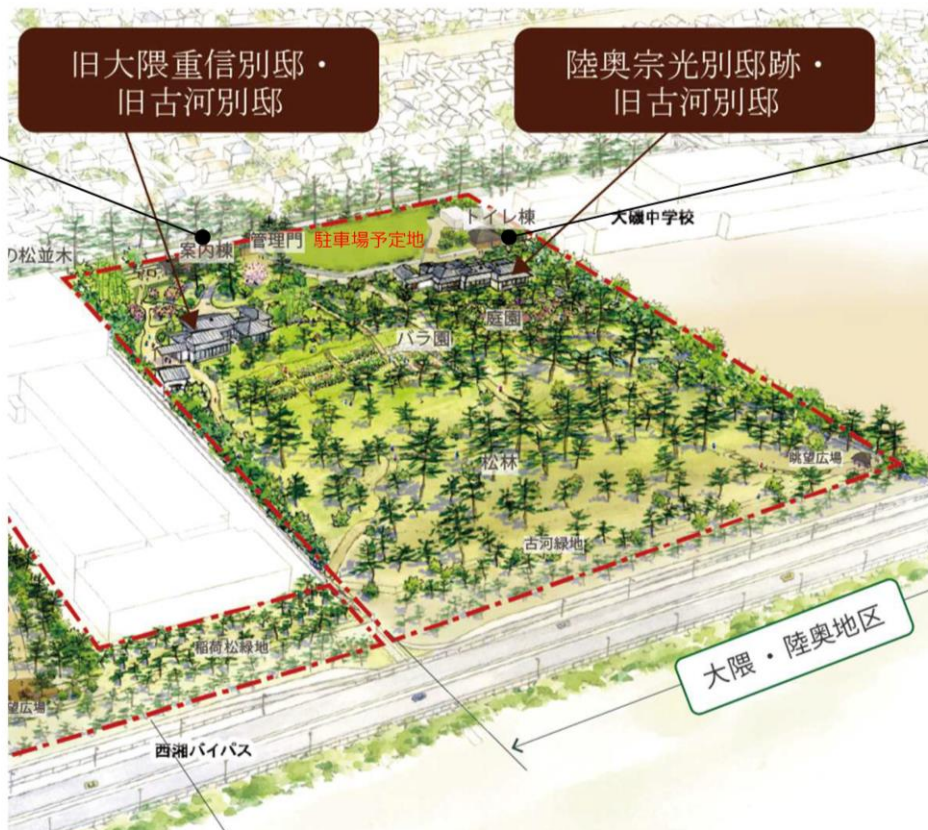


3. 暫定公開について

○第1期開園エリア内の旧大隈別邸・陸奥別邸跡の邸宅について、令和6年11月23日から暫定公開を予定。

○邸宅の暫定公開にあわせ、大磯ガイド協会等と連携し、来訪者に邸宅の見どころや歴史、改修経緯等を解説。

○第1期開園エリアの北側の未買収地の用地買収が完了(令和6年1月契約)したため、今後駐車場として整備予定。



3. 暫定公開について

○ 旧大隈別邸及び陸奥別邸跡の邸宅公開を記念し、暫定公開日に合わせ講演会を開催します。

基調講演

水沼 淑子 氏（関東学院大学名誉教授）
田中 昭之 氏（株式会社 建文）ほか

邸宅改修工事に携わった専門家・設計業者に、各邸宅の価値や見どころ等を解説していただきます。

特別講演

伊東 潤 氏（歴史小説家）

大隈重信の生涯を描いた長編歴史小説「威風堂々」の作者 伊東潤氏に、新たな日本を築いた大隈重信の生きざま等を中心に語っていただきます。

開催日

11月23日（土）
12:30～15:00（受付12:00）

会 場

大磯町立大磯中学校 体育館

定 員

約200名

入場料

無料（事前予約制）



伊東 潤

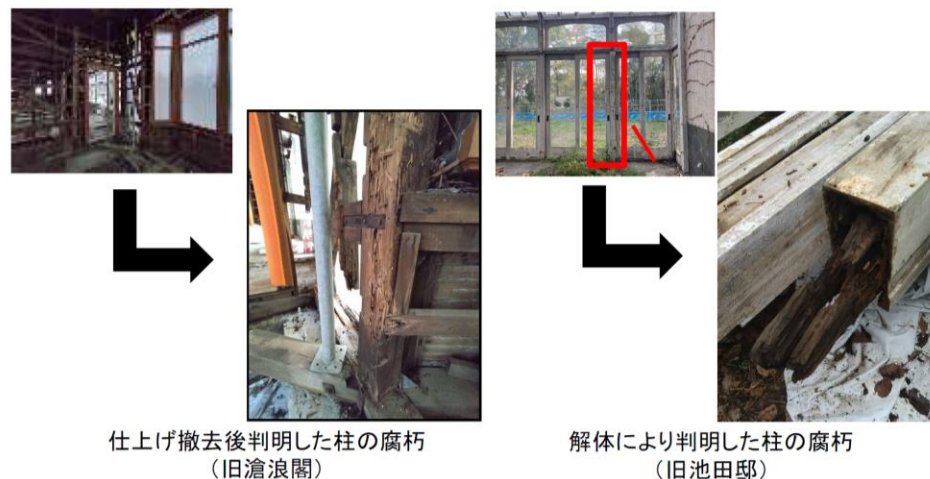
1960年、神奈川県横浜市生まれ。早稲田大学社会科学部卒業。外資系企業に勤務後、経営コンサルタントを経て、2007年『武田家滅亡』でメジャー・デビュー。『国を蹴った男』で第34回吉川英治文学新人賞、『巨鯨の海』で第4回山田風太郎賞を受賞。そのほか文学賞多数受賞。

4. 事業期間の延伸について

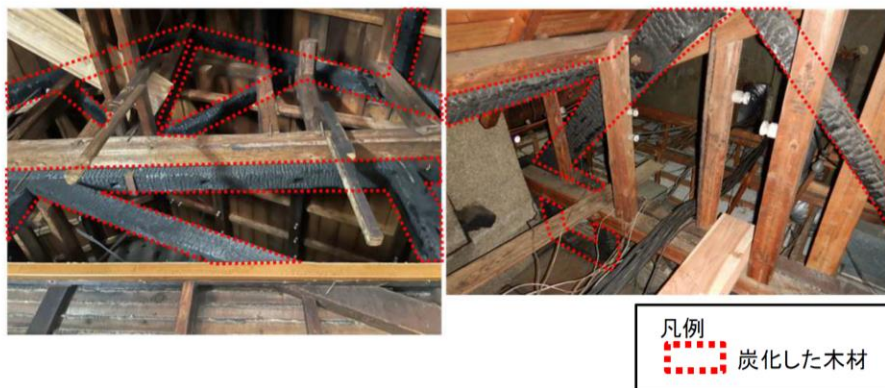
- 旧滄浪閣と西園寺別邸跡(旧池田邸)の改修・解体工事を進める中で、新たに補強が必要な箇所や往時の痕跡が判明したことによる設計の見直しや工法の再検討等が必要となったため、事業期間を令和10年度まで延伸。



基礎等の強度不足が判明。建物を全解体のうえ補強工事・建物再建を実施。



想定以上の腐朽箇所が判明。腐朽している柱等の補強・取替のための工法を再検討し、補強等を実施。



旧滄浪閣の天井板を撤去した際に、過去の火災で炭化した木材が判明。損傷した木材も活用しながら復原すべく、工法の再検討を実施。



創建当時の痕跡や部材が発見されたため、文化財として往時の痕跡を活かした設計の見直しや復原を実施。

4. 事業期間の延伸について

事業費及び事業スケジュール

